

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●高松宮記念はモズスーパーフレアが優勝

3月29日(日)に行われた高松宮記念(G I)ではモズスーパーフレア(牝5歳/栗東・音無秀孝厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。鞍上の松若風馬騎手(栗東・音無秀孝厩舎)にとっても初のG I制覇。モズスーパーフレアは単勝9番人気、単勝の払戻金は3230円で、これは1999年マサラッキの8番人気・1860円を更新する同レース史上最低人気・最高配当での勝利となります(G Iに昇格した1996年以降)。

### ●新谷功一調教師がJRA初勝利をあげる

3月28日(土)の1回中京7日・第7レースではスマッシングハーツが1着となり、同馬を管理する新谷功一調教師(栗東)は、JRA初勝利(延べ8頭目)をあげました。

### ●ソウルスターリングらの競走馬登録抹消

2016年阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)や2017年優駿牝馬(オークス/G I)などの勝ち馬ソウルスターリング(牝6歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算16戦5勝)のほか、2020年エンプレス杯(川崎・Jpn II)などの勝ち馬アンデスクイーン(牝6歳/栗東・西園正都厩舎/JRA通算24戦5勝・地方7戦3勝)、2017年京都ジャンプS(J・G III)の勝ち馬マイネルフィエスタ(牡10歳/栗東・長谷川浩大厩舎/JRA通算41戦3勝・地方2戦1勝)、2017年オーバルスプリント(浦和・Jpn III)の勝ち馬サイタスリーレッド(牡7歳/栗東・池添兼雄厩舎/JRA通算29戦6勝・地方4戦1勝)、2018年キーンランドC(G III)の勝ち馬ナックビーナス(牝7歳/美浦・杉浦宏昭厩舎/JRA通算36戦8勝・地方1戦0勝・海外1戦0勝)の各馬は、4月1日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ソウルスターリングとナックビーナスは北海道千歳市の社台ファームで、アンデスクイーンは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となり、マイネルフィエスタはJRA馬事公苑で乗馬となる予定。サイタスリーレッドは地方・大井競馬に移籍する予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●マリーンC(船橋)はJRA出身のサルサディオオーネ(大井)

マリーンC(Jpn III、4月2日、船橋、1600<sup>円</sup>)は、先手を取った5番人気の大井所属馬サルサディオオーネ(矢野貴之騎手、牝6歳、父ゴールドアリュール)が、2番人気のメモリーコウに2馬身差を付けてダートグレード競走初制覇を果たしました。3番人気のスマートフルーレが3着、ラインカーナは6着、1番人気に推されたパッシングスルーは9着に終わっています。

### ●アクアリーブルが桜花賞(浦和)制覇【各地の主要3歳重賞】

桜花賞(3月25日、浦和、1600<sup>円</sup>、牝馬)は、3~4番手を進んだ3番人気のアクアリーブル(父パイロ)がゴール前で差し切り、北海道在籍時の知床賞(盛岡)以来の重賞勝ち。5戦全勝で単勝1.3倍の圧倒的人気となったレイチェルウーズは、見せ場なく5着に敗れています。若草賞(3月26日、名古屋、1400<sup>円</sup>、牝馬)は、逃げた兵庫からの遠征馬ステラモナーク(父エスポワールシチー)が後続を6馬身引き離し、単勝1.3倍の支持にこたえて重賞3連勝を達成しました。

### ●コパノキッキングが登場、4月8日の東京スプリント(大井)

東京スプリント(Jpn III、4月8日、大井、1200<sup>円</sup>)は、出遅れて2着だった昨年の雪辱を期すコパノキッキングが最有力、以下ヤマニンアンブリメ、ジャスティン、ブルドッグボス(浦和)、ノボバカラ、ノブワイルド(浦和)までが争覇圏内と考えられます。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1フロリダダービー~ティズザローが2つ目のG1制覇

米国フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で3月28日に行われたG1フロリダダービー(3歳、ダート1800<sup>円</sup>)は、1番人気に支持されたティズザロー(牡、父コンスティチューション、B. タッグ厩舎)がM. フランコ騎手を背に3番手追走から力強く抜け出して4馬身 $\frac{1}{4}$ 差で完勝しました。ティズザローは昨年10月のG1シャンペンS(ダート1600<sup>円</sup>)でG1初制覇。続く11月のG2ケンタッキージョッキークラブSは3着でしたが、今年初戦となった前走2月のG3ホーリーブルS(ダート1700<sup>円</sup>)を制してここに臨んでいました。

### ●G1タンクレッドS~ベリーエレガントが快勝

3月28日にオーストラリアのローズヒルガーデンズ競馬場で行われたG1タンクレッドS(3歳上、芝2400<sup>円</sup>)は1番人気に推されたJ. マクドナルド騎手騎乗のベリーエレガント(牝4歳、父ゼド、C. ウォーラー厩舎)が後方待機から直線で鋭く伸びて抜け出すと、最後は追われることもなく4.3馬身差の快勝。昨年4月のG1オーストラリアンオークス(芝2400<sup>円</sup>)以来となるG1制覇を果たしました。